

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 音読することで覚えた言葉を日常の中で使う。 漢字の学習において、書いたり、読んだりする力が定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 覚えた言葉を教室に掲示し、日頃から児童の目に触れられるような環境を作る。教員は意識的に言葉を使っていく。 国語の文字の学習は、毎回、習った漢字を復習する時間を設ける。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 筆算の学習において、式の立て方を理解する。 具体物の操作と、式とをつなげて考える。 たし算、ひき算の意味を考え、正しく立式し、計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを一定にすることで、立式の方法を定着させる。 場面の理解を深めるための、具体物の操作の方法を、式の内容や個別の実態に応じて考える。 新しい計算の仕方を学習する際には、既習の学習が思い出せるように復習を取り入れながら行う。
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> 理科的な学習では、植物や昆虫を実際に見たり、触ったりしながら、様子を観察し、細かい体のつくりや、植物の様子について気付く。 社会科的な学習では、実際の見学等を通して、地域の特徴に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察する細かい部分については、大きく示して見せ、ビデオなどを見ることで気付かせ、その部分がどうなっているかをいくつかの言葉で表現できるように指導する。 社会科見学の事前学習では、学習計画を立てる際に、見学する場所の特徴やそこで働いている人、仕事の内容について、視覚的な教材を使って指導をする。事後学習では、写真等で振り返りを行い、理解を深める。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 正しい持ち方や吹き方、運指でリコーダーを演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーを持つことや、指で穴をふさぐことに授業を通して慣れさせていく。短時間でも、練習する回数を多く確保できるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 道具を正しく使って、作品に楽しく取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材の内容を確認し、図工専科とも連携を取りながら、道具の扱い方の注意事項や予想される課題点に対する手立てを考え、授業に生かしていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> いつでも全体の指示を聞き、ルールや活動内容を理解して、活動に取り組む。 単元ごとに、安全に気を付けて活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに、児童の運動における実態を把握し、どのような指導、手立てをとるかを考える。講師とも連携を図り指導にあたる。振り返りを行いながら、改善を図っていく。 状況に応じて、運動場所を個別に設けたり、補助具として必要なものを活用したりして指導する。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 友達と適切に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 温かい言葉や優しい言葉、そうでない言葉をきちんと区別し指導をしていく。 自分の気持ちや考えを伝え合う場面を授業の中でも意識的に取り入れ、児童同士の関わりを深めていく。